

まえがき

本書は 2008 年 1 月 16 日から 2 月 17 日まで、4 回にわたって国際文化会館（東京都港区六本木）で行われた連続講義・生活文化プログラム「家族のゆくえ」の記録である。

このプログラムは、(財)国際文化交流推進協会によって企画・主催され、旭化成ホームズ株式会社・住宅総合技術研究所が共催し、(財)地域社会研究所、(財)国際文化会館の後援を得て実施されたものである。

各回のテーマは、湯沢雍彦と国際文化交流推進協会の上品和馬とで協議して決定されたが、目標は「若者は家族をつくっていくのか」につながることを意図するようにした。本書は配布資料を含めて当日の講義内容を少しく加筆訂正したものだが、なるべく当日の雰囲気伝えるように努めたつもりである。なお、各回の資料は一括して巻末に添付した。

毎回、会場となった中会議室がいっぱいになり、参加者からの熱心な質疑も続いて、かなり盛況であったことは講演者として誠に喜びにたえない。また、ここに地域社会研究所のご厚意により、報告書が印刷物として保存されることになったこともありがたいことである。広く家族問題に関心をお持ちの皆様にも少しでも御参考になれば幸いである。

熱心に耳を傾けて下さった参加者の皆様をはじめ、関係者各位に厚くお礼申し上げたい。

2008 年 3 月

お茶の水女子大学名誉教授 湯沢 雍彦